

平成二十七年 度三年生・院 生研究発表会発表題目 (氏名・発表題目)

【3年生】

〔藤本ゼミ〕

新岡 直美

日本語学

近現代における呼びかけ語「姫」の変遷—シェイクスピア翻訳を中心に—

濱田 洪

鈍色と灰色の境界について

日本語学

〔灰谷ゼミ〕

川井 志織

高木 志麻

大里 真吾

伸ばし発話の種類と機能

その上で使用される方言について

初対面時から時間経過に伴って変化する言葉遣い

鱸 夏美

黄 琳娜

創作作品に見る方言とその特徴

中国の日本語学習者における日本語否定疑問文の理解について

平櫛 利恵

日常会話の談話展開構造—ドラマ会話との比較から—

松田 菜摘

大分県方言文末詞「チャ」の意味機能と用法

中古文学

〔岸本ゼミ〕

村田 伽奈

『義孝集』に見る藤原義孝像

〔藤川ゼミ〕

大島 彩佳

竹平 希和

〔藤沢ゼミ〕

黒川 紗妃

中世文学

「春の夜の月」研究

『十二類絵巻』について

近世文学

読本『北野靈験』二葉の梅』考—三之丞の役割—

読本『窓螢余譚』における歌占

『近世説美少年録』と『新局玉石童子訓』にみる食事

津曲 恵利

徳永 七海

中 美咲

藤井由利子

村 上由里子

『卯月紅葉』における心中の失敗

黒本『道成寺根元記』における清姫像の変化

『南総里見八犬伝』における村雨について

〔柴ゼミ〕

石井 菜月

沖重 文絵

武田 莉奈

近現代文学

戦争児童文学研究

描かれる太宰治—記号としての文豪—

あさのあつこ『ありふれた風景画』にみる少女像

西川亜鶴紗

犀星文学のみなもと—室生犀星作品に

揺曳する金沢―

野口 智世

司馬遼太郎『項羽と劉邦』における人物造形―『史記』『項羽本紀』との比較を通して―

福圓 岬

絵本における絵と言葉の相互作用について―いせひでこ『ルリユールおじさん』を例に―

福田 純久

津村節子と福井―津村節子作品から見る福井像―

藤村 朝子

堀 真衣子

『花びらのような葉』―記録でも作り話でもない時間の表現―(短歌創作)
細田守と若者―映像化された『時をかける少女』を中心に―

〔原ゼミ〕

池田 早紀
宮沢賢治「銀河鉄道の夜」論(仮題)

高田 千尋

太宰治「ダス・ゲマイネ」論(仮題)

山田 麻美

谷崎潤一郎「春琴抄」―交錯するエゴイズム―

〔藤井ゼミ〕

田中 咲希
羽衣の受容史

長楽 歩

温羅伝説の研究
徳島の狸研究―名前を持つ意味―

富永 菜緒

徳島の狸研究―名前を持つ意味―

小塩里緒奈

広島市の災害と伝承文化

新谷 咲

原 知里

〔信木ゼミ〕

青野 桃奈

飯田有衣子

池田ひかり

神田 桃子

〔光原ゼミ〕

荒谷 茜

宇山 茄那

尾形 祥子

荻野 奈々

久保 瑠璃

柴田 季克

高橋 美佳

野中 翔

松浦明日香

松浦 瑞穂

〔小畑ゼミ〕

大杉由紀子

愛媛県松山市中島のおみどり神事

広島県府中市の七つ池伝説

〔国語教育学〕

和歌教材の教科書における扱われ方

PISA「熟考・評価」と批評読み

学習指導要領にみる戦後読書指導史

教科書教材・授業実践にみる詩の授業のねらいと方法

〔近現代文学〕

創作

海を抱く

真珠

従心

関係、にぎりむらさき

鬼の瞳に秋の月

答えは『魔牛嶋』

犬はタバコの夢なんて見ないと思うんだけど、どう思う？

落とし物屋さん

ぼくとグロリア

モラトリアム

〔近現代文学〕

創作

『ロリータ』研究―少女のイノセンスと成長について―

【院生】

東 滋美

肥田 伊織

〈女の物語〉成立背景―女流日記との

関わりから―

興居島における伝説と芸能